

昭和 23 年 (1948) 4 月

「埼玉県立浦和高等学校通信教育部」として設置。

昭和 38 年 (1963) 4 月

「埼玉県立浦和通信制高等学校」として独立発足。

昭和 60 年 (1985) 4 月・昭和 61 年 (1986) 4 月

県立職業訓練校 (工業科)、県立高等技術専門校 (洋裁科)との技能連携制度を発足。専修学校等で職業教育を受けながら本校通信制課程でも学ぶ形ができる。その後、服飾系専修学校の技能連携生の数が増加。

昭和 62 年 (1987) 4 月

現在の場所 (さいたま市北区榎引町 2-499-1) に拡充整備され移転。「埼玉県立大宮中央高等学校」と改称。

平成元年 (1989) 4 月

「単位制の課程 (単通・単定)」開設。服飾系専修学校の技能連携生は「単通」課程に在籍。発足時点での本校本課程の在籍者は 676 名。

これ以降、従来の本校通信制課程は、三学期制の「通信制の課程」(校内での通称は「三通 (さんつう) 」)となり、新しくできた「単位制による通信制の課程」(校内では「単通」)と区別する。

平成 15 年 (2003) 9 月

初めて秋の転編入試を実施 (初の秋季生)。

平成 16 年 (2004) 4 月

半期ごとの単位認定を実施する。